

沖縄修学旅行
トークライブ
プログラム企画提案書

2021年03月ver02

株式会社note

■ 沖縄修学旅行の魅力

人 × 文化 × 自然

沖縄には、沖縄ならではの歴史・文化があります。その歴史や文化、環境を地域の人との交流を通して感じてもらうことが最大の魅力だと考えています。

noteでは、修学旅行でしか体験できない学習プログラムを通して、沖縄修学旅行をさらにより良い教育の機会にしたいと考えています。

これからの平和をつくる世代（大学生）と
沖縄で**対話を通して考える・体験できる旅**



沖縄現地での平和学習の様子



フィールドワークの様子

note

■ 沖縄修学旅行「トークライブプログラム」について

トークライブは「**沖縄のただの大学生**」と「**対話**」を通して生徒自身が主体的に学ぶアクティブラーニングプログラムです。

学校のニーズ

プログラムの方向性

1

沖縄だからこそ得られる学びをテーマにしたい。



沖縄だから学べる「SDGs」や「平和学習」をテーマにする。

2

座学だけではなく、五感を使ったプログラムを行いたい。



若い世代との対話や交流を中心にご希望に合わせたプログラムの企画。

3

単発で学ぶだけでなく、継続的に取り組めることをしたい。



事前、本番、事後学習などトータルサポートを行う。

■ 沖縄修学旅行「トークライブプログラム」について

事前学習では現地で何を学びたいのかを「知る」、実際に沖縄で学んだことを「心で感じ」、地域の若者たちとの対話を通じて「自分の意見を伝える」、**「多様な視点」**で修学旅行後も社会課題に目を向けるチカラを育むきっかけを作ります。



<事前学習について>

オンラインで行います。
沖縄の大学生がワークショップ形式で生徒さんと一緒に「テーマ」に関してクイズやワークシートを使いながら進めていきます。

年代の近い世代とのコミュニケーションを通しながら、基地問題や沖縄戦について知識を深めます。

修学旅行で何を学びたいか？の生徒一人一人の意欲を高めます。

<当日プログラムについて>

- ・フィールドワーク
- ・地元の大学生とのディスカッション

修学旅行当日はフィールドワークやディスカッションを通して、事前学習で整理した学びたかったことを実際に現地で感じます。

来て、見て、感じたことを自分の言葉で言語化し学びを深めます。

<事後学習について>

- ・成果発表
- ・テーマを決めてディスカッション

事後学習では、沖縄現地での学びを成果発表として落とし込みを行います。

グループ発表会を沖縄とオンラインでつなげる
さらに深いテーマを決めて、沖縄の大学生とディスカッションを行うなどが可能です。

■ 沖縄修学旅行「トークライブプログラム」について

3つのポイントで生徒さんの「楽しかった」を引き出します。
そして、社会問題から目を背けたくるのではなく、交流・対話を通して
「多様な価値観」があることを知ってもらうためのプログラムです。

地元の大学生 との交流

クラスに1名、大学生の進行役がつきます。

年代の近い大学生が進行サポートとして入ることで、話やすく楽しく学べる時間を提供します。

オリジナルのツール をプログラムごとに作成

「ディスカッションを練習したい」「基地問題について様々な意見があることを知ってもらいたい」などご要望に合わせたプログラムの企画、それに合わせたオリジナルのワークシートやツールを提供します。

振り返りの時間 を必ず取っています。

振り返りの時間を設けることで自分自身学んだことや気になったことを言語化してもらいます。

なんとなく感じたこと、学んだことを言語化することで、学びの深化を図ります。

私たちの考える「平和学習」や「基地問題」は重く暗く目を背けたいものではなく、この時間を通して多様な価値観に触れ、その中で自分自身が考えるきっかけを持つ。そんな時間にしたいと考えています。

※大学生が進行サポートとして入りますが、彼らは素人です。
それぞれの考えを自由に話しています。
ありのままの大学生との交流（トーク）を体験するプログラムです。

■ 「トークライブプログラム①米軍基地編」

米軍基地について知って話す

～基地問題の本質とは何か？をテーマに地元住民の様々な意見をもとに考える～

事前学習プログラム例

沖縄からオンラインで繋がります。

※1各部屋（クラス）に大学生の進行役が一人入ります。

- ①基地ができた歴史的背景を学ぶため歴史カードをクラスの代表が読んで並べ替えを行う
- ②基地がどんな場所にあるのか、どんな問題が起こっているのかを想像する
- ③実際に大学生との対話を通して自分の考えを整理する
- ④沖縄に行った際に学びたいこと、聞いてみたいこと、見てみたいことをまとめる

※1実施場所はハウリングを防止するため別々の場所での実施をお願いしています。実施場所につき、進行役が1名入ります。

修学旅行現地プログラム例

10名1グループで行います。
1～2グループに大学生の進行サポートが入ります。

- ①見て、感じた基地について感想を共有
- ②基地に関する様々な意見を論点別に分類
- ③「自分の考え」と違う点や「他者の考え」を“視覚化”し対話をおこなう
- ④基地の整理縮小に関してトークライブを行う



中南部で開催可能です。
会場手配は行なっておりませんのでご了承ください。

■ 「トークライブプログラム②平和学習編」

沖縄戦から平和を考えて話す

～沖縄戦を知り、平和とは何かを考え未来をつくるための行動を決める～

事前学習プログラム例

沖縄からオンラインで繋がります。

※1各部屋（クラス）に大学生の進行役が一人入ります。

①沖縄戦の歴史的背景を学ぶため歴史カードをクラスの代表が読んで並べ替えを行う

②価値観ゲームを通して互いの価値がぶつかった時に争いが起こることを知る

③実際に大学生との対話を通して自分の考えを整理する

④沖縄に行った際に学びたいこと、聞いてみたいこと、見てみたいことをまとめる

■所用時間：2コマ

修学旅行現地プログラム例

10名1グループで行います。
1～2グループに大学生の進行サポートが入ります。

①来て、見て、感じた沖縄戦について感想を共有

②価値観ゲームを通してぶつかる価値観を知る

③ぶつかり合う価値観を“視覚化”し対話をおこなう

④平和な未来を作るための行動宣言トークライブを行う

■所用時間：120分～150分



※事後学習に関しても全てのプログラムで実施可能です。
修学旅行の目的やルートに合わせてプログラムを設計します。

■ 「トークライブプログラム ③SDGs編」

沖縄からSDGsを学ぶ

～SDGs14の海の豊かさを守るためにテーマにトークライブを行う～

事前学習プログラム例

沖縄からオンラインで繋がります。

※1 各部屋（クラス）に大学生の進行役が一人入ります。

①沖縄の社会活動家である二宮氏の講演を聞く

②グループワークで海の理解を深める。沖縄の海マップを使って、どこにどんな生物が住んでいるのか、そしてその生物が住む環境はどんな条件が必要か知る

③実際に大学生との対話を通して自分の考えを整理する

④沖縄に行った際に学びたいこと、聞いてみたいこと、見てみたいことをまとめる

■所用時間：45分×2



二宮あみ氏

修学旅行現地プログラム例

10名1グループで行います。
1～2グループに大学生の進行サポートが入ります。

①来て、見て、感じた沖縄の海について感想共有

②会場であるホテルのそれぞれの部門ごとにどんなSDGsの取り組みをしているかインタビュー

③身近なサステイナブルを探し視覚化しながら整理する

④SDGsとは？を言語化できるようディスカッションを行う。

■所用時間：120分～150分

■ 「トークライブプログラム ④ゆいまーる編」

沖縄のゆいまーるを体感する

～沖縄の方言で助け合いの意味があるゆいまーる、
それって大事なの？をテーマにトークライブを行う～

事前学習プログラム例

沖縄からオンラインで繋がります。

※1 各部屋（クラス）に大学生の進行役が一人入ります。

- ① アイディア出しワークを行う。
一人の時とチームで行なった時の違いを知る
- ② ゆいまーるの言葉の意味や、実際に沖縄のゆいまーる文化を大学生からきく
- ③ 身近なゆいまーるを書き出し、共通点を見つける
- ③ 実際に大学生との対話とワークを通して自分の考えを整理する
- ④ 沖縄に行った際に学びたいこと、聞いてみたいこと、見てみたいことをまとめる

■ 所用時間：45分×2

修学旅行現地プログラム例

10名1グループで行います。
1～2グループに大学生の進行サポートが入ります。

- ① 来て、見て、感じた沖縄について感想共有
- ② チームビルディングアクティビティを実施する
- ③ チームでやることのメリットデメリットを整理する
- ④ ゆいまーるをうまく機能させるには？をテーマにトークライブを行う

■ 所用時間：90分～120分



■ 会社紹介

[会社概要]

- 社名： 株式会社note
- 所在地： 〒901-2125 宜野湾市大謝名2-27-2
- TEL：098-943-2326 ■ FAX：098-901-7130
- 設立： 2016年9月13日
- 従業員数： 6名
- 登録在沖縄大学生： 約50名
- 事業内容： 人材育成プログラム企画・運営・企業研修・
チームビルディングイベント企画・運営

[プログラム申込・受付概要]

- 受入可能人員： 50名～300名
(オンライン研修は100名以上からの実施となります)
- 受入可能日時： 通年 ※時間は要相談
- 申込方法： 所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、
FAXにて受付
- 申込期間： 開催予定日の同日10:00より、1ヶ月前迄の受付
※申込先行受付順になります
- 利用料金： 現地研修・企画/運営費 500,000円～
事前・事後学習企画/運営費 200,000円～
移動費・会場費・昼食費などは含みません。

注) 大学生の学部・在籍校・男女比などのご要望は、基本的にお受けできませんので予めご了承ください。

注) プログラムの内容や実施場所によって料金が変わりますのでお見積もりをご確認ください。



株式会社note
代表取締役
仲間 暁子



沖縄県には、独自の文化、伝統があります。
チャンプルー文化とも呼ばれ、多様な人が集まり、
人と人が支え合い、受け入れあってできた文化です。

そんな沖縄だからこそできる体験プログラムを弊社
では企画・運営しています。

沖縄の若い世代と、修学旅行生が交流し、対話する。
トークライブを通して気づき考え、行動する機会を
つくりたいと思っています。

参加する大学生は本当に素人です。
交流し、話す！その体験に価値を感じて頂ける方々
と共により良い機会をつくっていきたいと考えてお
ります。
沖縄修学旅行のこと、なんでもご相談ください！

お問い合わせ

株式会社  note

 098-943-2326

 info@note-okinawa.com